

提出締切：2018年11月30日 講義終了時

注意：演習問題の解答において、断りがない限り、弱理想グラフ定理と強理想グラフ定理を用いてはならない。

復習問題 6.1 与えられたグラフ G の最大独立集合を求める問題を、充填型整数計画問題として定式化せよ。その際、変数として、 G の各頂点 v に対して、 v を選択するか否かを表す 01 変数 x_v を用いよ。

復習問題 6.2 グラフの彩色を独立集合への分割であると見なすことで、与えられたグラフ G の染色数を計算する問題を、被覆型整数計画問題として定式化せよ。その際、変数として、 G の各独立集合 S に対して、 S を分割に用いるか否かを表す 01 変数 y_S を用いよ。

復習問題 6.3 自然数 $m, n \geq 1$, 01 行列 $A \in \{0, 1\}^{m \times n}$ に対して、次の整数計画問題 (P) を考える。

$$\begin{aligned} & \text{maximize} && \mathbf{1}^\top \mathbf{x} \\ & \text{subject to} && A\mathbf{x} \leq \mathbf{1}, \\ & && \mathbf{x} \in \{0, 1\}^n. \end{aligned}$$

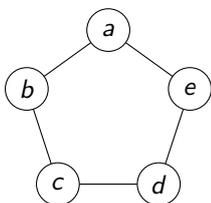
ただし、変数は $\mathbf{x} \in \mathbb{R}^n$ である。この整数計画問題 (P) の線形計画緩和 (LP) は次のように書ける。

$$\begin{aligned} & \text{maximize} && \mathbf{1}^\top \mathbf{x} \\ & \text{subject to} && A\mathbf{x} \leq \mathbf{1}, \\ & && \mathbf{x} \geq \mathbf{0}. \end{aligned}$$

(P) にも (LP) にも最適解が存在すると仮定する。以下の問いに答えよ。

- (P) の任意の許容解は (LP) の許容解でもあることを証明せよ。
- (P) の最適値は (LP) の最適値以下であることを証明せよ。
- (LP) の最適解 \mathbf{x} が (P) の許容解であるとき、 \mathbf{x} は (P) の最適解であることを証明せよ。

復習問題 6.4 次のグラフの分数染色数が $5/2$ であることを証明せよ。



補足問題 6.5 演習問題 6.3 の設定において、次の整数計画問題 (C) を考える。

$$\begin{aligned} & \text{minimize} && \mathbf{1}^\top \mathbf{y} \\ & \text{subject to} && A^\top \mathbf{y} \geq \mathbf{1}, \\ & && \mathbf{y} \in \{0, 1\}^m. \end{aligned}$$

ただし、変数は $\mathbf{y} \in \mathbb{R}^m$ である。この整数計画問題 (C) の線形計画緩和 (LC) は次のように書ける。

$$\begin{aligned} & \text{minimize} && \mathbf{1}^\top \mathbf{y} \\ & \text{subject to} && A^\top \mathbf{y} \geq \mathbf{1}, \\ & && \mathbf{y} \geq \mathbf{0}. \end{aligned}$$

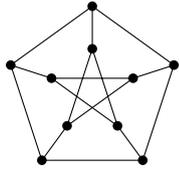
(C) にも (LC) にも最適解が存在すると仮定する。以下の問いに答えよ。

- (C) の任意の許容解は (LC) の許容解でもあることを証明せよ。
- (C) の最適値は (LC) の最適値以上であることを証明せよ。
- (LC) の最適解 \mathbf{y} が (C) の許容解であるとき、 \mathbf{y} は (C) の最適解であることを証明せよ。
- \mathbf{x} が (LP) の許容解であり、 \mathbf{y} が (LC) の許容解であるとき、 $\mathbf{1}^\top \mathbf{x} \leq \mathbf{1}^\top \mathbf{y}$ が成り立つことを証明せよ。

追加問題 6.6

- 与えられたグラフ G の最大マッチングを求める問題を、充填型整数計画問題 (P) として定式化せよ。その際、変数として、 G の各辺 e に対して、 e を選択するか否かを表す 01 変数 x_e を用いよ。
- 問題 (P) に対応する被覆型整数計画問題 (C) を記述せよ。その変数は G における何を表すのか、明確にせよ。また、(C) の最適値として得られる値の表すものが何であるのか、説明せよ。
- (P) の最適値が (C) の最適値以下であるという一般論から、グラフ G について何が分かるか説明せよ。

追加問題 6.7 次のグラフの分数染色数を定めよ.



追加問題 6.8 任意の自然数 $k \geq 1$ に対して, 頂点数 $2k + 1$ の閉路 C_{2k+1} の分数染色数が $2 + \frac{1}{k}$ 以下であることを証明せよ.